



dyson <sup>dual cyclone
TECHNOLOGY</sup>

DC03 取扱説明書

ご使用前に必ずよく
お読みください

DC03 基本操作

ブラシ調節装置

ブラシ調節装置により、床面に応じて回転ブラシをON/OFFに切り替えてください。



NEUTRAL

たたみ、フローリングの掃除には、手動でNEUTRAL（ブラシOFF）に切り替えてください。

PARK

掃除機を直立状態にすると、ブラシOFFになります。「ワンタッチ伸縮式ホース&パイプ」を使って掃除するときは、この状態にしてください。

DRIVE

じゅうたんは、DRIVE（ブラシON）に設定して掃除してください。PARKからは自動的にDRIVEになります。NEUTRALになっているときは、手動でPARKにしてください。

回転ブラシの動きが妨げられると大きな音で警告します

ホース&パイプ
取りはずし
ストッパー

電源ON/OFF
スイッチ

サイクロン部
取りはずしツメ

ブラシ
調節装置

持ち運びハンドル

付属品 収納部

シリンダー取りはずしツメ

カバーキャップ
取っ手

電源コード
掛け（上）

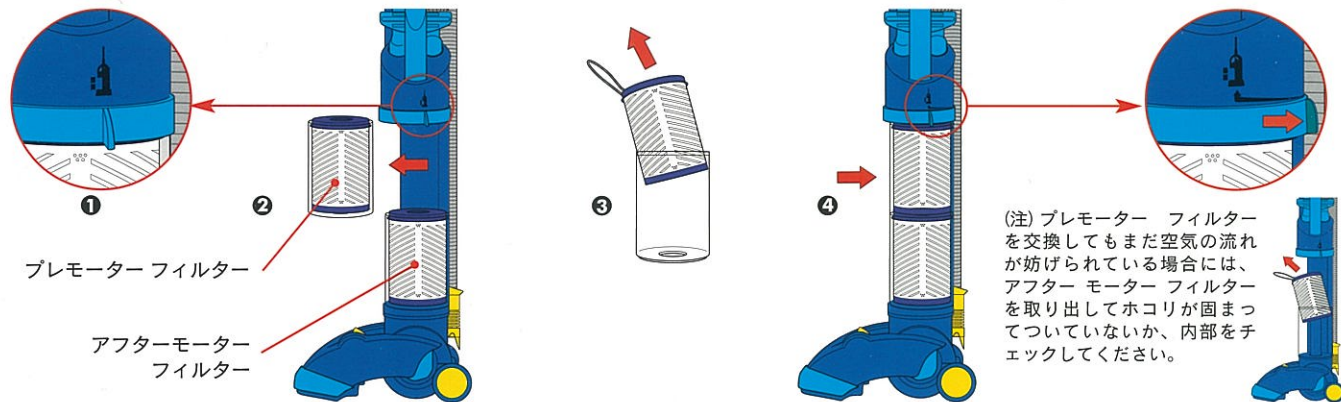
パイプ

狭いスペースなどの
掃除には、ホースに
付属品を装着
してください

ホースの先の黄色い
ボタンを押すと、パイプの
取りはずしができます

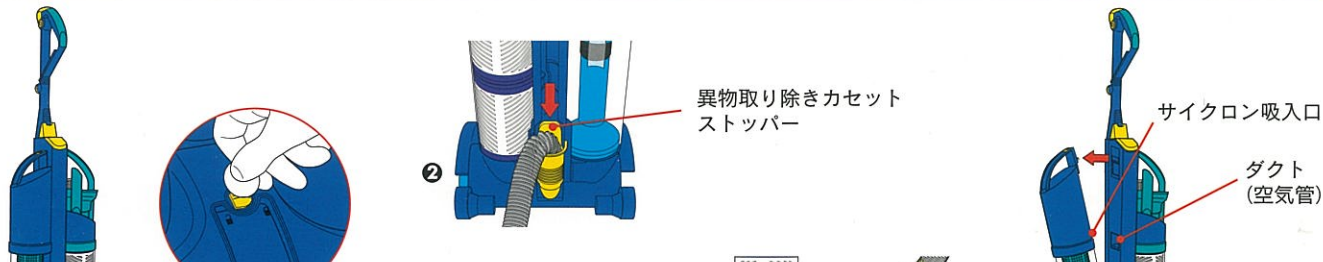
フィルターの交換

プレモーター フィルター は、定期的に変換してください。フィルターが詰まると、掃除機が過熱状態になる前に自動的に運転が停止されます。これは、ダイソンDC03が「熱探知・自動OFF装置」を内蔵しており、空気の流りが妨げられた場合、機器が熱で傷まないように設計されているためです。このようなときは、まず掃除機の電源プラグをコンセントから抜いて、30分間待ちください。ご使用前にフィルターをチェックし、必要に応じて新しいプレモーター フィルター をセットしてください。



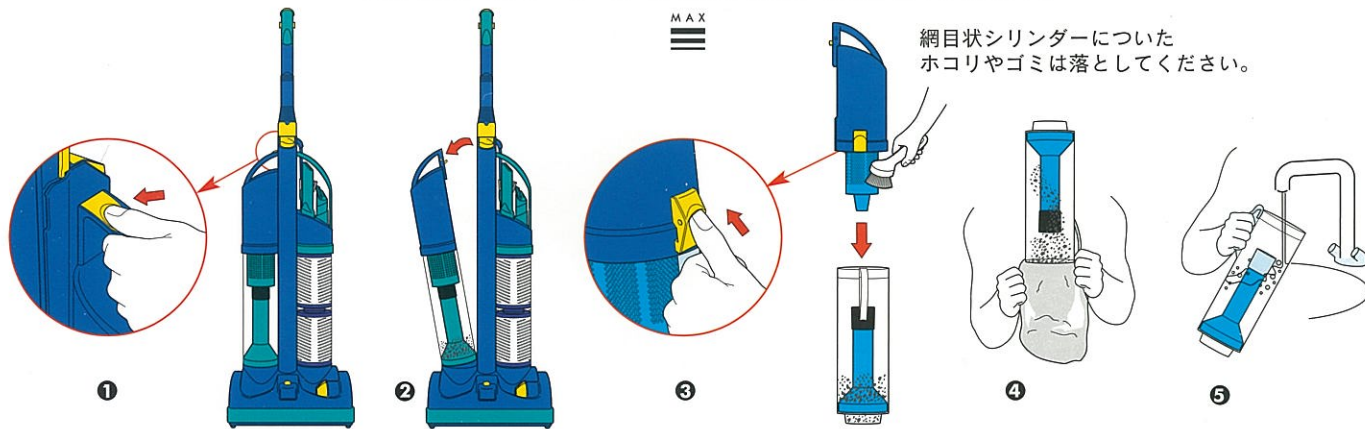
- ① 「フィルター取りはずし回転ストッパー」を左に回して、フィルター ケースを掃除機本体から取りはずします。
 - ② フィルター上部の杵を起し、プレモーター フィルター を引き出します (少なくとも12か月ごとに交換してください)。
 - ③ フィルターを入れた後、フィルター ケースを本体に戻し、回転ストッパーを右に回してしっかりと閉めます。
- (注) 「異物除去のみの修理」は有料となります。ご依頼の前によくご確認ください。

異物の除去



ゴミの捨て方

ゴミが透明シリンダーの「MAX」の線までたまったら、捨ててください。



- ① ハンドルを握りながら黄色い「サイクロン部取りはずしツメ」を押して、手前に引きます。
- ② サイクロン部を掃除機本体から取りはずします。
- ③ 黄色い「シリンダー取りはずしツメ」を押して、透明シリンダーを取りはずします。
- ④ 透明シリンダーのふちをビニール袋でぴったり覆い、シリンダーを逆さまにしてゴミを袋に落下させます。ホコリが袋の底に落ち着くまで、10秒ほどお待ちください。シリンダー内のゴミをそのままゴミ箱にお捨てになっても結構です。
- ⑤ 透明シリンダーは適宜、ぬるま湯で洗ってください。その際、洗剤はご使用にならないでください。内部シリンダーおよび黒いパッキング類は、はずさないでください。また、透明シリンダーは完全に乾いてから掃除機本体に取りつけてください。

ブラシのお手入れ

回転ブラシの動きが何かに妨げられると、大きな音を発し、ブラシの回転が自動的に停止します。このようなときは、掃除機が吸い込んでいるものから吸入口を離せば音が止み、ブラシは自動的に回転を再開します。回転ブラシに絡まった糸などを取り除くときは、まず電源プラグをコンセントから抜いてから、ハサミなどで切り取ってください。



修理はすべてダイソン社が責任をもって承ります。



ダイソンお客様相談室

ダイソンの掃除機はすべて2年間の保証付きです。お買い求めのダイソン掃除機についてのお問い合わせは「ダイソンお客様相談室」が承ります。お問い合わせはほとんどの場合、当社の専門スタッフがお電話で対応できます。それ以上の措置が必要な場合は、お客様の掃除機をお引き取りにうかがい、ダイソン社で修理・テストおよびクリーニングを行った後、再びお客様のお手元にお届けします。

お客さま相談室には、以下の事項を事前にご確認のうえ、お電話ください。

- 1 お買い上げのダイソン掃除機の製造番号（本体背面下の車輪横に記載）
- 2 お客様のお電話番号
- 3 お買い上げの年月
- 4 お買い上げの場所、または方法（販売店名、通販カタログ名など）

ダイソンお客様相談室 0120-295731



お問い合わせの異常がいかなるものであれ、ダイソンはお客様の掃除機を修理するだけでなく、完全に分解してチェックします。最後に周知なクリーニングを行ったうえで、お手元にお届けします。



安全上のご注意 必ずお守りください

火災や感電、怪我などを未然に防ぐため、ダイソンDC03掃除機をご使用になる際には、事前に以下の「警告」および「注意」に示された注意事項をよくお読みになったうえで、必ずこれに従ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- お使いのコンセントの電圧が、製品仕様に記載されている電圧と適合していることを必ずご確認ください。

仕様	
電源	100V 50Hz/60Hz
定格消費電力	690W
吸込仕事率	90W
真空度	14651 Pa
風量	0.9 m³/min
コード長さ	7.4 m
質量	6.94 kg (備品等を除く)

- 掃除機の電源コードが破損した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードの交換が必要です。電源コードの交換は、特殊な工具や専門技術を要するため、ダイソン社以外による修理・交換はできません。
- 掃除機の一部に瑕疵（かし）があったり、紛失・損傷しているようであれば、いかなる箇所であれ掃除機は使用しないでください。このような場合は、「ダイソンお客様相談室」にご連絡ください。
- コンセントに電源プラグを差し込んだまま掃除機を放置しないでください。掃除機をご使用にならないとき、または掃除機のお手入れやメンテナンス作業を行う前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 電源コードを無理に引っ張ったり、掃除機本体などでひいたり、ドアにはさんだり、鋭利なものに引っ掛けたりしないでください。電源コードが損傷する恐れがあります。また、電源コードは熱いものの近くや、その上に置かないでください。コードが損傷した場合は、「ダイソンお客様相談室」にご連絡ください。

- 階段を掃除するときは、掃除機より上の段に立ってご使用ください。

- 水やその他の液体を吸い取ることは、絶対におやめください。また、屋外、風呂場、シャワー室内、ぬれた床面などでご使用になると、感電の危険性がありますのでおやめください。

- ぬれた手で掃除機を操作したり、電源プラグに触れたりしないでください。

- 灯油、ガソリン、シンナーなどの可燃性の高いもの、燃えやすいものを吸い取ることはおやめください。また、これらのもののそばで掃除機を使用しないでください。アスベスト（石綿）、アスベスト塵、その他の有毒物（コピー機のトナーなど）を吸い取ることは絶対におやめください。

- 熱い灰や燃えているものを吸い取ることは絶対におやめください。

- 掃除機のお手入れをするときは、本体を水に浸すことはおやめください。水洗いできるのは、透明シリンダーだけです。透明シリンダーは、本体から取りはずしてゴミを捨てた後に、なかを水洗いできます。内部シリンダーおよび黒いパッキング類は、はずさないでください。透明シリンダーは、完全に乾いてから本体に取りつけてください。

- 火やガスの炎のそばで掃除機を使用しないでください。

- 電源プラグをコンセントから抜く前に、掃除機のスイッチをOFFにしてください。

- 電源プラグが傷んだり、コンセントや電源コードの差し込みがゆるいときは、ご使用にならないでください。

- 電源コードをクリーナーヘッドの回転ブラシに巻き込まないでください。

- 付属の電源コード以外のコードは、ご使用にならないでください。

- 電源プラグは、根元まで確実にコンセントに差し込んでください。

- 電源プラグのホコリなどは、定期的に取り除いてください。

注意

- ご使用前に、必ずサイクロン部を本体の正しい位置に取りつけ、フィルターを装着してください。

- ダイソン社製、またはダイソン社が推奨する部品以外は、ご使用にならないでください。メーカー保証が無効になる場合もあります。ご不明の点がありましたら、「ダイソンお客様相談室」にお問い合わせください。